

第10回歴史地震史料研究会

主催：新潟大学災害・復興科学研究所「日本海沿岸地域を中心とした地震・火山現象の解明のための史料収集と解析」研究グループ，科研基盤研究C「災害記録としての活用に向けた年代記の研究」

2022年11月26日（土）12:55～17:10 オンライン開催

◆研究発表会プログラム◆

13:00～14:20 口頭発表

齋藤瑞穂・鈴木正博 縄文三陸地震津波研究（5）
—「縄文海進」定着後の天変地異と陸中・山田湾—

片桐昭彦 東国の年代記にみる15世紀の地震

水野 嶺 天正10年天文異常の再検討

松岡祐也 1596年の降砂・降毛現象と義演による災異解釈

14:35～15:55 口頭発表

西山昭仁 日記史料にみる中近世京都における地震の捉え方

堀 健彦 1828年三条地震と平安越後古凶
—災害を契機とした古景観像の創出と流布—

原 直史 大名留守居廻状と災害情報の共有—文政11年三条地震を中心に—

原田和彦 地震体験談の蒐集—善光寺地震を題材として—

16:10～17:10 口頭発表

谷口 央 安政東海・南海地震における甲府城下の地震被害
—被害建物数と被害人員数の実態把握を目指して—

矢田俊文 1855年安政江戸地震被害の境界と1856年安政台風の被害
：石河明善日記・渡辺東淵雑録

原田智也・西山昭仁・石辺岳男 安政三年十月七日（1856年11月4日）の地震による所沢と久米川での被害の有無について

本年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から事前申込制によるZoom(ウェブ会議システム)を用いたオンライン方式で行います。参加申込のメ切は11月22日(火)とさせていただきます。参加を希望される方は氏名・メールアドレス・所属・住所をご記入の上 katagiri@human.niigata-u.ac.jp までお送りください。

問い合わせ先 片桐昭彦（新潟大学人文学部，災害・復興科学研究所兼任）

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学人文学部

電話 025-262-6542 E-mail: katagiri@human.niigata-u.ac.jp